

3. 品質への取り組み

■ 品質基本方針

三ツ星ベルトグループでは、「経営基本方針」を「品質基本方針」と定め、その「行動基準」に基づき、顧客に提供する製品・サービスの質向上を図るための品質保証体制を整備し、活動しています。

品質基本方針

「高機能、高精密、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」

行動基準

- ① 顧客の満足を得る製品を開発する。
- ② 全社品質管理(TQM: Total Quality Management)を充実・レベルアップし、国内外業界のトップレベルの品質を確保する。
- ③ 決めた標準を守って仕事を行う。

■ 品質マネジメントシステム取得による品質保証への対応

品質マネジメントシステムについては、自動車用関連部品で世界トップレベルの品質システム向上を図るため、国内外の工場で、自動車業界の国際品質規格IATF16949の認証を取得するとともに、各種製品でISO9001の認証を取得し、品質保証体制の強化を図っています。

IATF16949・ISO9001・JIS A 6008 認証取得

規格種類	対象	
IATF16949	産業資材事業部門(四国工場)	自動車用ベルト
	三ツ星ベルト技研㈱	自動車用ベルト
	MBL (USA) CORPORATION	自動車用ベルト
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	自動車用ベルト
	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	自動車用ベルト
	P.T. SEIWA INDONESIA	自動車用ベルト
	蘇州三之星機帶科技有限公司	自動車用ベルト
	MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED	自動車用ベルト
ISO9001	産業資材事業部門(神戸本社、東京本社、名古屋工場、四国工場) 三ツ星ベルト技研㈱	一般産業用ベルト、 ウォームホイールブランク
	建設資材事業部(神戸本社、東京本社、名古屋工場)	建築用防水シート、土木用遮水シート
	研究開発部	金属ペースト、回路基板材料および塗料
	三ツ星ベルト工機㈱	タイミングプーリー
	三ツ星ベルトコンベヤ㈱	搬送用樹脂ベルト
	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	一般産業用ベルト
	P.T. Mitsuboshi Belting Indonesia	一般産業用ベルト、カップリングゴム弾性体
	P.T. SEIWA INDONESIA	一般産業用ベルト
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	一般産業用ベルト
	蘇州三之星機帶科技有限公司	一般産業用ベルト
JIS A 6008	建設資材事業部(名古屋工場)	合成高分子ルーフィングシート

■ 従業員の品質意識向上 -QC(品質管理)サークル活動-

三ツ星ベルトグループでは、「品質基本方針」に基づき、全社品質管理(TQM: Total Quality Management)を推進しています。その一環として、1967年からQC(品質管理)サークル活動に取り組んでいますが、近年は、国内工場に留まらず、海外にも広がり、グローバルな人材育成・改善活動の場として定着しています。毎年、秋には「三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会」を開催し、現場における製品の品質管理や作業効率の改善などの事例を発表し合い、相互研鑽を図っています。また、一般財団法人 日本科学技術連盟主催のQCサークル全国大会に、毎年、選抜サークルが発表するなど、社外のQCサークル発表会にも積極的に参加し、レベル向上を図っています。



2018年度三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会(タイ)



2018年度QCサークル全国大会(金沢)



2019年度QCサークル全国大会(神戸)



2019年度QCサークル全国大会(神戸)

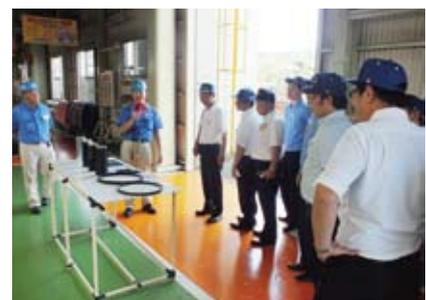
一般社団法人日本科学技術連盟主催のQCサークル全国大会に、2018年度は四国工場代表の2サークルが、2019年度は神戸事業所代表のサークルが出場し、発表を行いました。惜しくも感動賞の受賞は逃しましたが、他社の参加者に分かりやすく伝える難しさを実感した、よい勉強の場となりました。



2018年度QCサークル全社大会(名古屋工場)



2019年度QCサークル全社大会&工場見学会(四国工場)



毎年、夏に開催されるQCサークル全社大会は、国内生産工場で開催しています。発表会の後は工場見学会を行い、改善内容を実際に現場で確認し、自社製品の製品知識向上に役立てています。

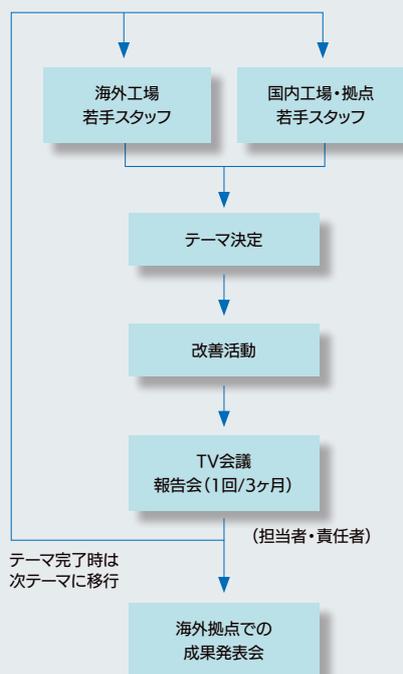
GLOBAL GEMBA KAIZEN ACTIVITY



国内外工場、拠点の若手スタッフが主となり、生産工場における、生産性向上や歩留まり向上、不良低減などの原価低減テーマを計画的に改善していきながら、人材の育成を図る取り組みを実施しています。

テーマの選定は、各工場より1件以上とし、国内工場スタッフと海外工場スタッフが連携し、各テーマを解決していきます。先輩スタッフを交えた定期的な進捗報告会や、年1回の海外工場での活動成果発表会などを通して、改善活動のレベルアップを図っています。前回は2018年11月に、合計8ヶ国(8工場)がタイ国に集い、KAIZEN報告や検討会を実施し、懇親を深めました。

活動フロー



活動状況

WEB会議



海外工場



国内拠点

TV会議



2018年度成果発表交流会(タイ)

